

令和2年度自己評価及び学校関係者評価書

42001
市立札幌新川高等学校

- 1 本年度の重点
 1. 個に応じた教育を推進し、確かな学力の定着を図る。
 2. キャリア教育を推進し、自ら意欲的に進路実現を目指す生徒の育成を図る。
 3. 国際理解教育を推進し、国際性豊かな生徒の育成を図る。
 4. 学習と部活動を両立させ、心身ともに調和のとれた生徒の育成を図る。
- 2 本年度の経営方針
 1. 校内組織の連携強化を図り、円滑な学校運営に努める。
 2. 魅力ある、信頼される学校づくりのために協働して学校運営に努める。
 3. 進学型キャリア教育の充実・発展のため学校環境や条件整備に努める。
 4. 生徒の「学ぶ力」を育成するため、主体的・対話的で深い学びの視点から授業の工夫に努める。
 5. 家庭・地域への情報発信及び意見の収集を積極的に図り、学校と家庭・地域社会が一体となった生徒支援に努める。

3 自己評価結果

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
全体	新川高校での高校生活は、全般的に満足できるものである。	A	新型コロナウイルス感染症拡散防止対策が今後も続き、生徒の活動は制限されることが予想される。学校生活の中心である授業は常に授業改善に努め、また、生徒にとってより充実した学校行事や生徒会活動となるよう取り組む。	A	A
	新川高校は、教育方針(教育目標)を日々の教育に生かしている。	B	各学年・各教科における共通理解をより一層進め、主体的・対話的で深い学びの教育実践を通し、教育方針を意識しながら教育活動を進めていく。		
	学校教育目標を達成するために、学校の特色を踏まえた教育課程を編成している。	B	令和4年度入学生(新学習指導要領の開始学年)に向けた地域連携に関わる体験型の教育課程編成が進んだことが自己評価のアップに繋がったものと考えられる。これらの学習内容を現在の生徒たちへ還元させながら、基礎・基本を身につけさせ、更なる教育課程の改善に努める。		
学校関係者評価者による意見		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での高校生活、教育方針(目標)、教育課程の編成において、新川高校モデルを確立していただきたい。 ・新学習指導要領開始を控え、「フロンティア・エリア制」は学力及び人間力を育てるといって魅力的です。 			
学習指導	授業は、内容が充実しており生徒は満足している。	B	三者による評価は年々高くなっている。今後はICTの活用を取り入れるなど、より一層授業内容の充実を目指す。	B	B
	生徒の家庭学習時間(予習・復習)は十分確保され、授業に臨むことができている。	C	学習到達度を示す評価基準を明確にし、各教科の学習内容について何を学ぶのか具体化させ、生徒による家庭学習に関する意識を高めさせる。さらに授業改善に取り組む。		
学校関係者評価者による意見		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で学校・生徒の周りの状況変化、いろいろな制限が続いているので、今後の学校の指導に期待しております。 ・コロナ禍での対応は非常に大変だったと思います。ただ、このような事態だからこそ、「開拓者たれ」というフロンティア精神を持つことで、生徒一人一人が「考え行動に移す」ということを今まで以上に意識することが出来たのではないのでしょうか。 ・COVID-19の感染症拡大防止に向けた教職員の皆さまのご努力に感謝申し上げます。この感染症対策は、今後も継続することが予想されます。今後とも、教職員の皆さまには、ご心労が絶えないとは思いますが、よろしく願いいたします。なお、コロナ禍の中で、新しい生活様式を迎えるにあたり、新川高校としての新たな取組みとして、行事の見直し、校内の消毒、また教室の換気には大学の知見を活用されるなど、ご努力された成果には目を見張るものがあります。 			
生徒指導	全教職員が共通理解のもと生徒指導にあたっている。	B	社会の中でもSNSの利用など価値観が多様化してきている。教職員内でも共通理解を図りながら指導するよう取り組む。	A	A
	生徒指導は、正しい礼儀や規律ある生活が送れるよう指導されている。	A	様々な活動(ボランティア等)を通じて、外部の方からも高評価を頂いている。さらに、卒業後も社会人として自立できる生徒になれるよう指導や相談活動を充実させていく。		
	自転車マナー指導・登下校指導等、交通安全指導が適切に行われている。	A	毎朝の登校指導が評価されているが、並走やイヤフォンをしながらの自転車走行などのご指摘もあり、継続的に指導を行っていく。		
学校関係者評価者による意見		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導は全教職員の熱意が伝わり、これで良いのではないので、改善の方策に期待をしています。 ・コロナ禍により、Zoomを使用している対応策、必要不可欠になりつつあるSNSですが、危険性や注意点は、耳にタコが出来くらい生徒に対し今後も指導は必要。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止に向けたさまざまな対策を講じられておりました。生徒の学習支援の新たな取り組みについて、今後は、ビデオ会議アプリやSNSアプリを積極的に活用していただき、双方向の授業が実現されることを希望します。 ・コロナ禍の中、日々生徒と向き合いながら、生徒指導されており、感謝申し上げます。なお、雪のない時期ですが、登校時、信号のない広い道路の交差点で、自転車が渡るのを目撃しています。充分ご注意ください。 			
<p>評価基準</p> <p>〔自己評価〕 A-十分達成されている B-ほぼ達成されている C-達成されているが課題もある D-課題が多い</p> <p>※注 評価は総合評価の決定方法に準じ、1. そう思う 2.どちらかといえばそう思う の合計平均が A-85%以上 B-70%以上 C-50%以上 D-50%未満</p> <p>三者(教職員・保護者・生徒) 教(教職員) 保(保護者) 生(生徒) による評価である。</p> <p>〔学校関係者評価〕 A-適切である B-ほぼ適切である C-あまり適切でない D-不適切</p>					